

12月定例議会は一般会計、特別会計の平成30年度補正予算のほか、条例の一部改正、一般案件について、慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。

整備を中心に

(総額 256億1,896万円)



林地崩壊防止事業 1,722万円

(7、8、9月豪雨により被災した
林地の崩壊防止を図る)



現年土木災害復旧事業 9,879万円

(8、9月の豪雨、台風24号により
被災した公共土木施設の復旧費)

みなさんからの
請願・陳情

【採択】

大田市内の公立小・中学校の教室等に「エアコン設置」を求めること
(請願者) 大田市立大田小学校内
大田市PTA連合会会長
内藤信二

【採択】

地方ローカル線の維持・存続に
関し法改正を求めること
(請願者) 国鉄労働組合米子地方
本部 執行委員長 倉下文明

【採択】

小型風力発電所建設に関すること
(請願者) 鳥井町自治会連合会
会長 大原伸外1名

【継続審査(総務教育委員会付託)】

国に対し「消費税増税中止を求
める意見書」提出方について
(請願者) 新日本婦人の会大田支部
支部長 清水信江

議員提出議案

【原案可決】

▼地方ローカル線の維持・存続を
求める意見書の提出

▼相次ぐ自然災害に対する特別交
付税の増額を求める意見書の提出

12月定例市議会

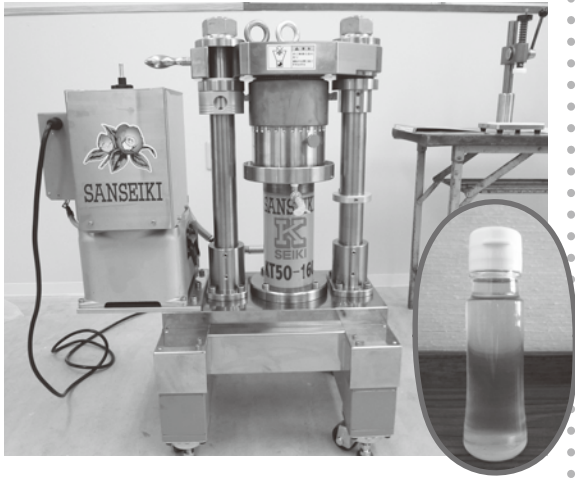
平成30年12月3日(月)～
12月17日(月)

～安心・安全な住みよい大田市を目指して～

災害復旧、教育環境

平成30年度一般会計補正予算 4億9,268万円

主な補正内容



農産物生産振興販売促進事業

249万円

(はね営農組合：育苗ハウスの設置)
(島根県農業協同組合石見銀山地区本部：えごま加工品における販路開拓、新商品の試作開発等)



空調設備整備事業

1,916万円

(空調機器整備のための設計業務費・
小中学校・幼稚園)

その他の補正

補正額(万円)

その他の補正	補正額(万円)
大田市観光施設改修事業(外壁塗装の下地からアスベストが検出され、適切な処理を図る)	2,318
農業農村整備事業(島根県西部地震により被災した掛戸排水機場の復旧)	300
災害被害森林復旧対策事業(9月豪雨により被災した森林作業道の復旧に対する支援)	337
就学援助事業(平成31年度新入学児童に対して学用品等を平成30年度中に前倒しで支給する)	263
激励金交付事業(文化・スポーツ等の振興を図るため、各種全国大会及び国際大会に出場する市民等への激励金交付件数増)	30

◇12月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛反		林茂樹	龜谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	松村信之	小林太	河村賢治	内藤芳秀	大西修	月森和弘	木村幸司	塩谷裕志	清水勝	石橋秀利
			賛	反																				

■市長提出議案

議案第40号	平成30年度大田市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第41号	平成30年度大田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第42号	平成30年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第43号	平成30年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第44号	平成30年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第45号	平成30年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第46号	平成30年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第47号	平成30年度大田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第48号	平成30年度大田市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第49号	平成30年度大田市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第50号	大田市長の選挙における選挙運動用トウの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第51号	大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第52号	大田市新築住宅に対する固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例制定について	原案可決	17:2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第53号	大田市共同作業所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第54号	財産の無償譲渡について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第55号	和解及び損害賠償の額の決定について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第56号	いざいぎ工房相式の指定管理者の指定について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第57号	大田市国民健康保険仁摩診療所の指定管理者の指定について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第58号	井田生活改善センターの指定管理者の指定について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第59号	福浦生活改善センターの指定管理者の指定について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第60号	紋村集会所の指定管理者の指定について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第61号	大田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	18:1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第62号	大田市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第63号	大田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第65号	平成30年度大田市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	17:2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第66号	平成30年度大田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第67号	平成30年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第68号	平成30年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第69号	平成30年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第70号	平成30年度大田市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第71号	平成30年度大田市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第72号	平成30年度大田市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■議員提出議案

議案第64号	大田市議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
意第2号	地方ローカル線の維持・存続を求める意見書の提出について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
意第3号	相次ぐ自然災害に対する特別交付税の増額を求める意見書の提出について	原案可決	19:0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■請願・陳情

請願第1号	大田市内の公立小・中学校の教室等に「エアコン設置」を求めることについて	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採
請願第2号	地方ローカル線の維持・存続に関し法改正を求めることについて	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採
請願第3号	小型風力発電所建設に関することについて	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採
陳情第1号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」提出方について	継続審査	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採	採
※定数20名、うち議長(石橋秀利)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留) ※退任は退席																									

いっぱん質問



▲久利町クリスマス交流会で演奏する大田一中吹奏楽部

市政に対する一般質問は、12月6日、7日に行われ、11人の議員が執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.ohda.lg.jp/>)で閲覧できます。)

答弁 学校業務改善プランは、島根県と連携して取り組みを進め、教職員の働き方改革の指針として策定することとしている。

6月に、学校業務改善推進会議を設置し、学校業務全般の改善に向けて定期的に協議を行っている。6月

質問 学校が異常な長時間労働場になってきている今、教職員の労働が社会問題になっている。昨年ついに政府も教員の長時間勤務の早急な是正を掲げた。しかし、その対策は肝心の教員増がないなど不十分である。調査では教材研究、いじめなどに対応する余裕がなくなるとしている。大田市版「働き方改革プラン」について伺う。

大田市版 「教職員の働き方 改革プラン」とは

本年度末には 改善プラン及び
ガイドラインを策定する

おおにし 大西
おさむ 修 議員

末から、学校業務改善アドバイザーを配置し、各学校を巡回、助言や課題の掘り起こしを実施している。8月には業務改善補助スタッフを配置し、学校事務の共同実施に向けての準備を行っている。9月からは、大田小学校、第一中学校にスクールサポートスタッフをそれぞれ1名配置し、教員の補助を行うことで、教員が児童・生徒への指導や教材研究等に一層注力できる体制を整備。10月から、教職員の健康管理及び勤務時間に関する意識改革や労働実態を把握するため、全ての小・中学校にタイムカードを導入した。

本年度末には学校業務改善プラン及び部活動ガイドラインを策定する。



▲静間小学校授業の様子

会計年度任用職員への 対応、対策は

法改正に向け、
準備を進めて行く

みだに 三谷
たけし 健 議員



ライフ・バランスの実現に向け、年次有給休暇取得の増加に取り組むなど働き方改革を進めていく。

会計年度任用職員については、制度の導入に伴い、現在の特別職非常勤職員、臨時職員の任用状況から、多くの職員が会計年度任用職員に移行すると考えられる。2020年4月1日の法改正に向けて、適切な任用、勤務条件などの制度設計、例規整備等の準備を進めていく。

質問

「働き方改革」において、職員の時間外勤務などの長時間労働や非正規と正規職員の格差などが課題とされている。大田市では現状をどう捉え、どのような対策を考えているのか。

また、新たに、2020年度から施行される、嘱託、臨時職員の「会計年度任用職員」への移行に際しての対応、対策について伺う。

答弁

これまで行財政改革の推進と行政規模に見合った定員の適正化に努めている。一方、職員の時間外勤務は近年増加傾向にある。総人件費の縮減、長時間労働の是正は喫緊の課題である。事務改善を図る中で効率化に取り組み、ワーク・



▲多くの嘱託、臨時職員が働く市役所窓口

「置き勉」を 実施すべきでは

学校、家庭と連携しながら、
取り組む

もりやま こうた
森山 幸太 議員



行品の重さは平均約4kg、中学生は平均約5kgだった。教育委員会としてもできる限り負担を軽減すべきと考えている。

今年の9月に文部科学省から、授業で使う教材などについて学校に置くことを認めている実例を挙げ、各学校や地域の実情にあわせて適切な配慮をするよう通達が出された。

現在、市内の小中学校では学校ごとに持ち帰るものと学校に置いてもよいものを検討し、児童生徒の携行品に係る配慮を行っている。今後

全国的な問題として、小学生が通学に際して使用しているランドセル・学校かばん・リュックの重さと運ぶ荷物の多さが影響し、子どもの体に大きなリスクを与えている。

学校では、かばん等の重さに対する対応が問われている。児童生徒の健康や安全を第一に考える上で、「置き勉」を実施するべきであると考えているが、所見を伺う。

質問

答弁

教科書やその他の副教材等の大型化、学習指導要領改訂による教科書等のページ数の増加などにより、通学時の携行品が重くなっている。大田市内の小中学校へ聞き取りを行った結果、小学生の携



▲たくさんの勉強道具を持ち通学する小学生

大田市の農業政策を問う

7つの基本方針を掲げ、
取り組みを進めている

こま だひろたか
胡摩田弘孝 議員



を進めている。
農地の大区画化、汎用化を図り、米にかわる高収益作物を導入することが、農村の維持、農家所得の向上に繋がると考える。

現在、当市では、高収益作物への転換や園芸作物の団地化を推奨するとともに、昨年からは1億円産品を目指した産地パワーアップ計画を策定し、ブドウハウスの増設、振興作物としてアスパラガスやミニトマトの生産拡大を図り、特産品の産地化に向け、関係機関と連携した取り組みを実施している。

質問 昨年3月農業活性化プランの「改訂版」が発行された。このプランは、これからの5年間に集中的に取り組む農業関係事業の計画や具体的な数値目標、指標が設定されている。キーワードは、「儲ける、環境、地産地消」を掲げているが、現状の農業情勢を見ると農家の高齢化、担い手不足、農家所得の減少など、数値目標達成の実現性に乏しいものがある。
答弁 大田市農業活性化プランでは、「市民みんなが健康で豊かに暮らせる大田市農業」と設定し、7つの基本方針を掲げ、取り組み

併せて、県と連携し農業栽培における自動化やICT化などの技術導入や、農地の幹旋、施設、機械の整備支援、地域の受け入れ体制等、一体的な支援のパッケージ化を図ること、大田市独自の農業施策に反映できればと考える。



▶白ネギ栽培研修で新たな特産品を目指す(水上町)

小中学校でのいじめや暴力行為の防止を問う

早期発見に努め、
市全体として対処していく

しみず まさる
清水 勝 議員



積極的な認知を行うよう通知を出したことを受け、急激な件数の増加となった。不登校については小中学校ともやや増加している。

大田市では「いじめ問題対策連絡協議会」、「いじめ問題対応専門家会議」を設置している。いじめ問題は人権問題であり、まずは現場で事実関係をはつきりさせる。解決できない場合は、市全体としていろんなセクションが一緒になって対応を行っている。

②学校業務全般にわたる教職員の業務改善に取り組んでいる。具体的には、タイムカードによる勤務時間の客観的把握等である。学校、家庭、地域の役割を明確にし、総がかりで子どもを育てる環境づくりに努めている。

質問 全国的にも島根県、大田市内小・中学校でも、いじめや問題行動がささいな事案も含め最多となっている。心身に悪影響を与えたり不登校につながる重大事態も増えている。
①当市の調査実態と重大事態等に対処する「総合教育会議」や「いじめ問題対策協議会・専門家会議」の設置と機能を問う。
②児童等の変化に注視し、早期発見・早期対応は急務だ。学校内外の連携のもと児童等に接する時間確保が求められる。教職員の過密化している働き方の検証と善処方を問う。

答弁 ①問題行動は、平成28年度に文部科学省がいじめのより



▶平成30年人権に関するポスター
優秀賞 大場藍花さん作品(大田西中1年)

外国人旅行者対策として、キャッシュレス決済の推進を

キャッシュレス化の推進は重要であると認識している

ねぎ かずゆき
根宜 和之 議員



ス化を推進することは重要であると認識している。

しかし、システムの導入には、新たなコストの発生などが伴うことから、市内の観光関連指定管理施設において、導入しているのは8施設中2施設にとどまっている状況である。また昨年度キャッシュレス化に向けたセミナーを開催したが、参加事業者数は非常に少ないのが現状である。

質問 人口減少が進む現在、観光は、交流人口の拡大や地域経済の活性化に向けた施策として重要視されている。大田市を訪れる外国人旅行者も近年、特に増加傾向にあり期待されている。外国人旅行者の増加目標に向け、観光施設等のキャッシュレス決済を推進することが有効な手段の一つと考えるが、市としての意見を伺う。

答弁 市内への訪日外国人旅行者も年々増加傾向で、とりわけ来訪者の比率が高い東アジアにおいては、キャッシュレス化が進んでいることを考慮すると、観光消費額の増加の手段として、キャッシュレス

しかしながら、地域経済の循環を踏まえた上でも重要なインフラだと理解しているため、今後もキャッシュレス化に向け、一層努力をまいりたい。



▶カード決済システム

子育て世代包括支援センターの設置を

31年度中を予定している

いしだ ようじ
石田 洋治 議員



に至るまで地区担当保健師が一貫して対応する体制として、継続的に取り組んでいる。支援が必要な場合は、医療・福祉の関係機関との連携調整を密にしながら対応している。

今後妊娠から産後、子育て期にわたり切れ目なく必要な支援を受けられるよう努める。

妊娠から子育て期にわたるまでのさまざまなニーズに対して、切れ目のない総合的な支援を行う拠点である子育て世代包括支援センター設置については、平成31年度中を予定している。

質問 妊娠期から子育て期までの保護者子どもを切れ目なく支援する「子育て世代包括支援センター」の設置が全国で取り組まれている。少子化対策が喫緊の課題である本市において、保護者と子どもに寄り添うきめ細かな支援が重要であり、ワンストップで対応できる相談機能の拡充が必要と考える。大田市の取り組み状況及び今後の方針について伺う。

答弁 全ての妊婦に母子管理票である「大田市すこやかカード」を作成し、妊娠から出産、子育て期までの健診、訪問、相談等の情報を管理している。相談体制として、保健師による妊娠期から産後、子育て期



▲助産師による産後ケア

空き家対策の推進を図る 補助事業の利用予定は

空き家等再生推進事業 【除却事業タイプ】を 予定している

もりやま あきひろ
森山 明弘 議員



答弁

① 空き家対策総合支援事業は、補助要件が非常に限定される事業である。現時点で事業に見合う案件がないので活用は想定していない。

② 除却事業タイプは、計画で定めた危険度判定基準により、不良空き家と判定されたものについて行う。

活用事業タイプは、庁内の関係課で組織している大田市空家等対策検討委員会が情報共有、検討を行い、活用の可能性を探りながら、企業や市民の皆様が情報提供をしたい。

③ 空き家対策の担い手強化・連携モデル事業は、空き家の利活用に向けた体制を構築していく中で、県内他市の事例などを参考に、民間事業者による体制整備を検討したい。

質問 「空家等対策計画」に基づいて実施される除却や利活用等を支援する、国の3つの補助事業について、利用予定の有無を伺う。

① 空き家対策総合支援事業(空き家の活用や除却などを地域のまちづくりの柱として実施)

② 空き家等再生推進事業【除却事業タイプ(空き家住宅、空き建築物の除却)と活用事業タイプ(空き家住宅、空き建築物の活用)】

③ 空き家対策の担い手強化・連携モデル事業(多様な相談に対応できる人材育成、相談体制の構築、共通課題の解決を行うモデル的な取り組み)

▲ 空き家住宅



島根県西部地震の その後の対応は

復旧、復興に取り組んでいる

かめたに ゆうこ
亀谷 優子 議員



質問

地震発生から8ヶ月が経過した。現在のり災証明発行件数や、道路や港湾などの工事の進捗状況はどうか。

また、被災者生活再建支援制度は、被害の回復や被災者の不安を解消するために十分な内容であるという認識か。半壊・一部損壊・小規模破損の場合、被災者生活再建支援金の申請が今年度末までとなっているが、実態に合わせて柔軟に対応するべきではないか。

答弁

島根県西部地震における現在の被災状況は、り災証明書発行件数が11月末現在で4540件、市道の被災は309箇所、このうち補助事業による災害工事は、9

箇所。また、農地、農業用施設の被災は19箇所、漁港関係は6箇所。これらは全て工事発注済で、現在、復旧、復興に取り組んでいるところである。被災者生活再建支援制度については、被害の範囲を国の制度が対象とする全壊及び大規模半壊から、半壊、一部破損、小規模破損まで拡大した。支援金申請期間の延長については、やむを得ない事情や申請できない場合など、今後の申請の状況により対応を検討していきたいと考えている。

▲ 4月9日島根県西部地震時の被災道路



「心と身体の健康都市おおだ」を基本的な考え方としては

来年度以降の具体的な施策に反映していきたい

和田 浩司 議員



だいた

質問 現在、第2次大田市総合計画が策定中である。本来この計画は、具体的なまちの将来像と、達成するために想定される施策を示すことが重要である。市民と想いを共有し協働でのまちづくりに繋げることが不可欠だと考える。

そこで、「心と身体の健康都市」を最上位の概念とした計画実施が適切だと考えるが、いかがか。

答弁 総合計画は、市のあらゆる施策を総合的、計画的に進めていくための計画である。今回若い方々や女性の方々を中心に構成された大田市総合計画審議会で、さまざまな観点から議論され、答申をいた

だいた。基本コンセプト「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち」おおだ「は、世界遺産と国立公園を初め、他の地域にはない世界にも誇れる歴史、文化、自然があり、挨拶をしてくれる子供たちがいる。こうした大田の宝を生かしたまちづくりを地域みんなで話し合い、協力して誇りを持つて進めていこう」という考え方で策定されたものである。もう一つには、誰もが前向きに笑顔でチャレンジできる明るい雰囲気をつくっていこうということが根底にある。

議員提案の「心と身体の健康都市」というコンセプトは、平成28年度に策定した健康まちづくり推進方針の考え方と合致するもので、来年度以降の具体的な施策に反映していきたい。



▶ 琴ヶ浜での健康ウォーキング

大田市人権センター設置及び運営は

センターのあり方を検討することが必要であると考え

小川 和也 議員



質問

人権行政は総合行政であるとの認識のもと、平成26年に「大田市人権尊重のまちづくり条例」を制定された。

今後、各セクションにおいて、より施策が具体化し、より一層推進していくものと考え、大田市人権センター設置及び運営について伺う。

答弁

昭和52年に大田市隣保館を設置し、日常生活における相談事業や人権に関する教育・啓発活動などを行い、人権課題を解決するための拠点施設として各種事業に取り組んできた。しかし、施設の老朽化が進み、平成14年には、一部改修工事を行った。平成25年度に実施した

耐震調査では、耐震補強工事が必要であると診断されたうえ、エレベーターが設置されていないため、施設の整備が求められている。

本年3月に策定した大田市公共施設適正化計画に基づき、移転を含めた施設整備を検討している。現時点で詳細は決まっていらないが、隣保館事業が継続して実施できる代替施設の確保に努める必要がある。

人権センター設置については、益田市や雲南市を参考に、人権センターが担うべき機能を整理し、運営方法等も含め、センターのあり方を検討することが必要であると考えている。



▲隣保館「おおだふれあい会館」

**行財政改革特別委員長
中間報告**

来年度の施策に反映を



もりやま あきひろ 委員長
森山 明弘

9月定例会で委員長報告を行った後、4回の委員会(第3回~第6回)を開催。協議題はいずれも「事務事業評価」についてであり、その結果、指摘事項、提言は次のとおりである。

(1) 健康まちづくり推進事業

手法の見直し

市民への健康に対する意識醸成、健康づくりの拠点づくりであるため、まちづくり定住課が中心であったが、今後は各課で事業展開を図るべきである。

(1)の2 健康保養都市おおだプロジェクト

継続

各事業の課題等を検証していくこと。特にヘルスツーリズムプログラムの運営・販売団体への補助は多額であるので、早期の自立運営を目指すべきである。

(2) 障がい児通所支援事業

拡大方向での見直し

障がいのある児童が、社会的に自立するため、高まるニーズに対応すべきである。大田市の子どもは大田市で育てるべきである。

(3) 葬斎場管理費

縮小方向での見直し

火葬設備関係の大規模改修が必要となつた際に、改修はせず、葬斎場を集約し縮小することを検討すべきである。

(4) 都市公園整備事業

継続

利用実態がなく廃止できる公園は見直しを行い、利用度の高い公園は遊具等の修繕や新規の遊具の設置を検討すべきである。

(5) 「読み調べ学ぶ」力漲る学校図書館事業

継続

学校司書を配置し、子どもたちの心を育み、思考力・判断力・表現力を育成することで、読書活動が定着し、学校図書館活用授業時間数も増加している。司書の処遇改善に取り組んでいただきたい。

(5)の2 図書館蔵書整備事業

継続

市民の知る自由を守り、自主的・自発的な学習の機会を提供することが目的であるため、貸出数を増やすための物流システムや貸出システムを確立していただきたい。

**大田市総合計画審査検討
特別委員長 中間報告**

骨格案について質疑し、意見をまとめる



おがわ かずや 委員長
小川 和也

9月定例会で委員長報告を行った後、2回の委員会(第3回・第4回)を開催。

執行部から次の説明があつた。

- ① 第2次大田市総合計画「基本構想」の内容を踏まえ検討する。
- ② 厳しい財政状況のため、事業の統廃合や財源の確保を意識し、施策を検討する。
- ③ スケジュールとして、基本計画は、平成31年3月を目途に成案化し、その間に、市議会、市民の方々から幅広く意見を伺う。

次に、第2次大田市総合計画(骨格案)について、6本の柱である政策分野それぞれに、文言の説明を受け、質疑や意見を行い、まとめた。

主な質疑

問 健康を切り口とした観光振興に

取り組んでいただきたい。
答 ヘルスツーリズムを通じて、地元の方に体験してもらつた中で、健康を切り口とした観光振興を行っていく。

問 教育の魅力化のイメージは、どう考えているか。
答 教育を通じた地域づくりと考えている。学校・家庭・地域の連携が重要である。

問 中心市街地の整備についての現状はどうか。
答 官民が一体となり、活性化に向けて、JR大田市駅周辺において活発な民間事業を促す都市基盤整備に取り組む。

問 飲料水確保について、中山間地域の水道が普及していない地域の対応をすべきではないか。
答 水道未普及地域の飲料水確保に向けて、支援制度を検討している。

主な意見

- ・ 観光分野での成果指標については再度検討していただきたい
- ・ まちづくりセンターも含めた公民館のあり方を明記すべきである。
- ・ 放課後児童クラブの受け入れ体制の強化を明記すべきである。
- ・ 公共ネットワーク、地域交通のあり方を明記すべきである。
- ・ 自治会の在り方や加入率向上を明記すべきである。

議会改革・魅力化調査検討 特別委員長 中間報告

議会基本条例を検証する
中で改革と魅力化を



小林 太 委員長

9月定例会で設置された大田市議会改革・魅力化調査検討特別委員会を2回開催。

①第1回（10月10日）

委員会の進め方については、市議会定例会の閉会中ごとに1回の委員会を開催する。研修会、各種団体との意見交換会、先進地視察などを実施し、調査検討をすることとした。

主な意見・提案

- ・議会基本条例の検証を基本に進める
- ・一般質問や議会報告会での「見える化」を進める
- ・公職選挙法での選挙経費負担の内容や兼業禁止についての調査
- ・若手議員のなり手不足への対策
- ・議会内部での議論と外部の意見をすみ分けて検討する
- ・地域住民と共に議論を進める手法

②第2回（11月16日）

スケジュール案を示し、議会基本条例を検証する中で、議会改革と魅力化についての意見、提案をいくつとこととした。

主な意見・提案

- ・議会基本条例制定から時間も経過しているため、改めて勉強の場とし広報全般や議会報告会、例規集など関連分野も含め、幅広い議論とする。
- ・2月に予定されている議員研修会では議長、議会運営委員会とも調整を取りながら進めていく。
- ・議会基本条例の検証方法として「検証シート」について議論した。具体的な作業は、現状と課題、提案などを記入後、次回委員会から順次検証を進める。
- ・総体的な評価をする中で課題や提案を盛り込みながら意見を集約する。
- ・議員定数の取り扱いについては、当特別委員会では、具体的には触れない。



全員協議会の議題

議案の審査または議会の運営に関し協議・調整をおこないます。

12月3日

- ・大田市中長期財政見通し（平成30年度現在）

- ・大田市空家等対策計画（案）
- ・大田市立病院の運営状況

12月10日

- ・日本遺産認定申請
- ・平成29年度教育委員会事務に関する点検・評価

12月17日

- ・新可燃ごみ共同処理施設



▲新大田市立病院建設工事現場（11月）

指定管理議案一覧

施設の名 称	指定管理となる団体の名称	指 定 す る 期 間
いきいき工房祖式	祖式地区社会福祉協議会	平成31年4月1日から 平成34(2022)年3月31日まで
大田市国民健康保険仁摩診療所	医療法人 銀泉会	平成31年4月1日から 平成36(2024)年3月31日まで
井田生活改善センター	井田生活改善センター運営協議会	平成31年4月1日から 平成34(2022)年3月31日まで
福浦生活改善センター	福浦生活改善センター運営協議会	平成31年4月1日から 平成34(2022)年3月31日まで
荻村集会所	荻村集会所運営協議会	平成31年4月1日から 平成36(2024)年3月31日まで

H30 行政視察報告

総務教育常任委員会



まつむら のぶゆき
委員長

【期間】 10月31日～11月2日

宮城県丸森町筆甫地区

【住民自治組織の取り組み】

宮城県丸森町筆甫地区は、高齢化率が51%を超えている地区で、全国に先駆け昭和53年に住民自治組織が結成された。平成19年には「筆甫地区振興連絡協議会」として組織を改編している。

主な活動は、地域の課題解決を目的として多岐にわたった活動をされていた。その様な中、原発事故は地域の姿を一変させ、風評被害、住民移転などさまざまな困難に遭われ、その経験から住民自ら震災と向き合う精神を養い、自治力の芽生えや地域連携に繋がったことである。

今年度からは協議会で店舗もオー

ブンされ、買い物支援や特産品販売にも積極的に取り組まれていた。特産品の販売などを通して地域の誇りと魅力の発信、無理のない継続的な活動など、できることから取組を実施していると報告を受け、地域課題を抱える当市にとって課題解決のヒントをいただいた。



▲筆甫まちづくりセンター

宮城県白石市

【株式会社ヴィ・クルー（バス改修専門会社）】

㈱ヴィ・クルーはバスなどの特殊自動車の製造販売を手掛けている会

社である。近年は荷物と人を同時に運送できる貨客混載車の需要が多く製造が追いつかない一方で、交通手段の収益性や利便性の確保など当市の公共交通のあり方等について学ぶ機会となった。

その後、白石市の山田市長を表敬訪問し、新規事業として農商工連携を核とした「しろいしサンパーク施設」の建設について話を聞いた。この事業は子育て支援、多世代交流の拠点として整備するもので、農産物の販売・加工、地元食材を使用したレストランを組み合わせた複合施設である。全国的に過剰傾向にある「道の駅」に替わる施設として整備されており、発想の転換や過去にこだわらない事業展開の必要性を感じた。



▲㈱ヴィ・クルーでバスを見学

福島県喜多方市

【自治基本条例に基づく協働のまちづくり】

自治基本条例は、市民がまちづくりの主体であるとの認識のもと、行政主導から市民参画へ移行するための基本理念である。策定にあたっては平成21年から準備委員会が開かれ、十分議論をされた後、昨年6月に施行されていた。

まちづくりの拠点については、当局同様まちづくりセンターへ移行され、その運営資金等は「運営交付金」「ふるさと創生事業補助金」「地域課題解決事業」など実施されていた。自治基本条例に基づく協働のまちづくりについては、条例の有無よりも作成段階での議論が重要である。市民、市長、議会の役割と責務など基本的な考え方、方向性を学ぶ機会となった。



▲喜多方市役所

民生常任委員会



いしだ ようじ
石田 洋治
委員長

【期間】 10月17日～19日

福島県伊達市

【健幸ポイント事業】

※健康であることが幸であることの造語です。
伊達市は、福島県北部に位置し、人口6万1200人、面積265.1km²。

予防重視型の健康づくり施策として、生活習慣病予防から介護予防まで一体的・連続的な施策を実施している。特に市民の健康意識の向上を目的として、健幸ポイント事業に力を入れている。

健幸ポイント事業とは、健康運動教室、ウォーキング、特定健診、がん検診への参加や取り組みによりポイントを付与し、地域商品券と交換できる制度である。

参加者の8割が、これまで運動教室に参加したことがない運動不十分層と運動無関心層であった。参加者の平均歩数が約1500歩増加したことから、この層への働きかけが奏功した。また、移動手段の変化として、

て、車・バイクの利用者の5割が利用を控え、歩くよう心掛けるようになったとの統計も出ており、健幸ポイント事業の成果が出ていると考えられる。



▲伊達市役所

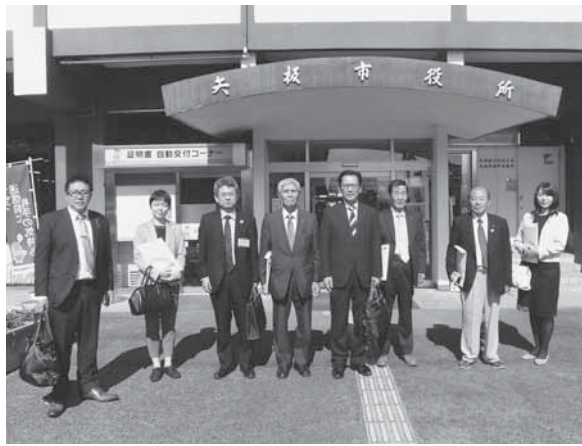
栃木県矢板市

【矢板市パパママ応援サイト】

矢板市は栃木県の北東部にあり、人口3万2900人、面積170.4km²。

婚活・結婚から妊娠・出産・子育てまでの情報の配信とユーザー同士の意見交換の場として、無料で利用できるサイトを開設し、各ライフステージにあった基本情報や行政サービスの情報提供を行っている。利用者と行政、利用者同士が情報交換しながら、「矢板市で子育てしたい」「矢板市で暮らしたい」と思っても

らうことが目的である。地域、民間行政で未来と今のパパママをサポートしていることよって、近年の幼児虐待や、産後うつなどの対策にも効果をあげている。



▲矢板市役所

埼玉県鶴ヶ島市

【鶴ヶ島版ネウボラ】

鶴ヶ島市は、埼玉県のほぼ中央に位置し、東及び南は川越市に接している。人口7万人、面積17.6km²。

ネウボラとはフィンランド語で、neuvoは助言やアドバイスを、iaは場所を意味する。妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目ない支援を実施することで、子育てにふさわしいまちとして若い世代の転入増加・転出抑制を図り、まちに持続的な活力を生み出すことを目的としている。

妊娠・出産期は保健センター、子育て期はこども支援課がそれぞれ担当し、両者の連携強化によりきめ細かい相談体制を設けている。

保健センターでは、妊娠届が提出された際に母子保健コーディネーター及び保健師がすべての妊婦と面談、アンケート調査を実施し、状況を把握している。こども支援課では、出生、転入届が提出された時や、児童手当やこども医療費助成、児童扶養手当等の申請を受理する際に、子育て支援相談員がすべての保護者と面談し、家庭の状況を把握している。今回は健康増進、子育て支援に着目し、大田市においても現在取り組んでいる施策のステップアップにつながる視察だった。



▲鶴ヶ島市役所



おおしし たくし
大西 修
委員長

【期間】10月17日～19日

富山県魚津市

【魚津埋没林博物館を活用した観光施策】

魚津埋没林とそれを含む土地6150㎡が特別天然記念物の指定対象となっている。博物館は、平成4年に総工費約15億円をかけて全面リニューアルオープンしている。①博物館内に楽しんで時間を過ごせるカフェを整備②子育て層が利用しやすい地元産木材を活用した木育スペースを整備③カフェの大型モニターやインターネット、WiFi経由で周辺に配信する。これらの整備により観光客や地元若者・子育て層の動きを作り出し、特産品や地域資源の再発見を促し、魚津市の活性化を目指しており、カフェオープン以後、周辺・館内を会場としたミニコンサート、ミュージカルカフェ、婚活イベント、マルシェなどのイベントを開催している。
埋没林博物館を活用した観光振興

策や近隣の観光施設等との連携事業の取り組みに努力され、参考となった。



▲魚津埋没林博物館で説明を受ける

長野県大町市

【モンキードッグ（鳥獣害対策）】

大町市発祥のモンキードッグ事業は、猿の出没抑制を図るため、複合的な対策の一つとして平成17年から実施している。
中型犬を採用し、警察犬訓練センターで、①人に危害を加えない②猿を見たら追い払う③追い払い終了後は呼んだら戻ってくる訓練をする。基礎訓練4ヶ月、現地訓練1ヶ月で、費用の内訳は市負担20万円、飼い主負担5万円であった。

課題として、①地域内での飼育犬利用のため、飼養者・犬の種類の選定が難しい②飼主がいなければ、け

い留を解くことができない③山中へ出入りするため、ダニ等の害虫対策が必要④モンキードッグ実施地域への猿の出没は減少するが、未実施地域での出没が増加している等であった。全国29県で約370頭が活躍している。大町市でも複合的な対策の一つとして検討してはどうかと思った。



▲実際にモンキードッグとして活躍している犬と飼主を訪問

新潟県十日町市

【道の駅「瀬替えの郷せんだ」の再生活用】

当初は、多くの道の駅と同様に、地域外の客を対象とした施設であった。同地区や嶺あいポート仙田の積極的な取り組みにおいて、地域の茶の間を備えた「福祉の場」、生活必需品販売所を備えた「生活の場」、農産物直売所を備えた「農業の場」、イベント開催による「交流の場」と、

その役割が多様化し、「小さな拠点」が形成されつつあった。

急速な高齢化により、様々な取り組みにおいて担い手不足になり、特に高齢化率の高い集落では、農道や水路、集会所や神社等の共同施設の維持管理、また伝統行事の継承などが難しい状況になり、支援が追い付かないとのことでした。

今後、さらに高齢者の生きがいを確保するため、農産物直売所の売りあげを伸ばし、直売所の魅力アップを図る必要がある。さまざまな課題解決を図り、人口が減っても活力を失わない、暮らしやすい仙田を創ることを目指されていた。

この道の駅の役割変化について、大いに見識を広げ、今後にかしていける視察となった。



▲道の駅「瀬替えの郷せんだ」

明けましておめでとうございます

本年も議員一丸となって、市勢発展に努めてまいります！



※内藤秀芳氏は、平成30年12月17日に市議会議員を辞職されました

広報広聴委員

- 委員長 林 茂樹
- 副委員長 木村 幸司
- 委員 松村 信之
- 委員 小川 和也
- 委員 胡摩田 弘孝
- 委員 三谷 健
- 委員 和田 浩司
- 委員 根宜 和之
- 委員 亀谷 優子

議会傍聴のご案内

- ※ 次の定例会は3月の予定です。
- ※ 市議会を身近に感じる良い機会です。
- ※ お気軽に越してください。
- ◇ 傍聴席は定員64人です。
- ◇ 多数で傍聴に来られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。
- (TEL: 0854-82-1600)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。新春をご家族おそろいで健やかに迎えのとお慶び申し上げます。さて、昨年は年初めから大雪、4月9日の大田市東部を震源とする島根県西部地震をはじめとして、全国各地で災害が発生した年でありました。「災い転じて福となす」という諺があるように、今年1年大田市民の皆様が幸せに過ごせ、大田市に「福」が訪れる年となるように願っています。

(小川 和也)